

第4回土浦市中心市街地活性化協議会議事録

- 開催日時 平成25年6月24日(月) 13時30分より15時15分まで
- 開催場所 土浦商工会議所 ホール
- 出席者数 委員16名 オブザーバー2名
- 出席者名
- ・中川喜久治(土浦商工会議所副会頭)
 - ・横山和裕(土浦商工会議所副会頭)
 - ・大澤義明(筑波大学)
 - ・伊藤光二郎(土浦都市開発(株)常務取締役)
 - ・五頭英明(土浦市副市長)
 - ・小泉裕司(土浦市副市長)
 - ・木村芳弘(土浦商店街連合会)
 - ・丸山久(東日本旅客鉄道(株)土浦駅長)
 - ・勝田達也(NPO法人まちづくり活性化土浦理事長)
 - ・山根幸美(土浦市女性団体連絡協議会調査研究部会長)
 - ・伊藤勝夫(株アトレペルチ土浦店長)
 - ・茅根務(土浦市金融団幹事行)
 - ・豊田高久(土浦市金融団幹事行)
 - ・矢口健一(社土浦青年会議所元理事長)
 - ・池田正(土浦農業協同組合)
 - ・池田正雄(つくば国際大学教授)
 - ・横田清泰(内閣官房地域活性化統合事務局参事官補佐)
 - ・清水伸(茨城県商工労働部中小企業課 助川オブザーバー代理)
- (土浦市)
- 塚本盛夫(公室長)
 - 小柳健一(総務部長)
 - 久保谷秀明(産業部長)
 - 神立義貴(市長公室 政策企画課参事兼課長)
 - 小松澤文雄(新庁舎整備課課長)
 - 飯村甚(商工観光課長)
 - 船沢一郎(都市計画課課長)
 - 北島康雄(商工観光課長補佐)
 - 登坂裕明(商工観光課主幹)
 - 飯泉貴史(まちづくり推進室室長)
 - 長坂英治(まちづくり推進室主幹)
 - 中泉梢(まちづくり推進室主事)
- (事務局：土浦商工会議所)
- 菅澤秀男(専務理事)
 - 稲葉豊実(中小企業相談所長)
 - 松井修一(総務部長)
 - 加賀美吉彦(総務課長)
 - 石井政男(中心市街地活性化協議会事務長)
 - 森内靖雄(中心市街地活性化協議会係長)
 - 菅原伸司(中心市街地活性化協議会主幹)

1. 挨拶

(中川会長)

昨日の大雨で茨城県内も非難勧告が出された地域が何か所もあったと伺っております。そのような天候の悪い中、第4回土浦市中心市街地活性化協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。

本協議会の特徴は、縦割り行政の弊害を受けることなく、民官の力と発想で横断的にまちづくりについて協議できる場であり、様々な変化に対しても柔軟に対応できる組織であることだと思っています。このような意味から過去の経緯に捕らわれずに、良い部分を吸収しながら前に進めて行きたいと考えております。

会を立ち上げて以来、国内外で様々な出来事が起こっておりますが、昨日は、富士山が世界遺産に登録という、我々にとっても良いニュースが入って来ました。下馬評では、三保の松原は除外される見込みでしたが、これら全てを含めて認定されましたので、非常に良かったと感じております。

最近気になった新聞記事をご紹介します。

一つは、日本遺産を育てようという社説です。

日本では、一千を超える国宝、一万二千を超える重要文化財、又三千を超える名所旧跡があるそうで、富士山の世界遺産登録を契機に、このような素晴らしい観光スポットや文化財をもっと育てて行こうという記事でした。

土浦に目を向ければ、観光スポットもあり、国宝もあります。土浦もこのような場所になり得ると思いながら読んでおりました。

もう一つは、買い物難民をなくせという本の記事です。

土浦でもイトーヨーカ堂が撤退し、買い物難民が出ると言われた方もおります。私は、土浦においては、駅前に買い物難民はないと思いますが、このような本が出版される背景には、全国には買い物に限らず、行政サービスにも不都合な地域で生活する人がいるということだと思います。

記事では、このような事態になったのは、流通行政が機能しなかったことが要因としておりますが、一方では、地域の活性化は、市民の倫理観が非常に重要だと、興味深い内容が書かれておりました。地元愛につながる部分だと思いますが、市民が自分の街をどうするかという倫理観を持っていないと、行政が色々な取り組みをしても上手く機能しないということです。

合併等で街が大きく広がっている中で、行政サービスの提供という観点から中心市街地を考え直す余地があると考えております。中心市街地の人口を増やすことが大きなテーマにあります。人口減少社会を迎える中で、市外から迎え入れて人口を増やす一方、コンパクトシティを目指す上では、生活に不便な地域の市民が中心市街地に移れるような施策も求められると思っています。

本日は、市庁舎の整備計画についての協議が主題であります。新市庁舎は、駅前における様々な位置付けが考えられますが、私は防災の拠点が駅前に出来るという視点もあると思っています。大震災以降、防災の拠点は中心市街地に求められている機能ですので、庁舎の耐震の問題以上に重要な視点だと考えております。

茨城県では、この地区を関東のスポーツイベントの拠点として、リンリンロードを活用しながら日本一のサイクリングコースを整備するという計画を持っております。

先週、県の幹部の方とお話しする機会があって伺いましたが、現在日本一長いサイクリングコースは約80kmで、あと5～10kmを整備して、リンリンロードと霞ヶ浦自転車道を繋げれば、日本一の長さになります。平坦な茨城の土地は、サイクリングにもふさわしいことから、県ではサイクルトレインを活用して誘客を図っています。

私は当然、土浦の中心市街地に、このサイクリングロードの拠点を整備することを、地元

が意思表示をして行く必要があると考えています。

又、駅前商業の賑わいを考えれば、イトーヨーカ堂が2月に撤退しておりますので、待ったなしの状況です。期間限定ではありますが商工会議所では、駅間の賑わい創出事業として、イトーヨーカ堂跡地1階への出店者を募集したところ、50以上の申し込みがあり、先週、面接会を開催する等準備を進めております。

2月までの短期ではありますが、この事業で中心市街地に対する意識付けをしたいと思っております。

本日は、中心市街地における新庁舎の位置付けについてお話を伺いますので、活発な議論になりますことをお願いいたしまして、ご挨拶いたします。

会議概要

報告事項

(事務局)

会議に必要な、定足数を満たしている旨を確認。又、委員の変更について、東日本旅客鉄道(株)長谷川委員より丸山委員に変更されている旨を報告。

協議

(1) 土浦市新庁舎整備計画について

(土浦市新庁舎整備課 小松澤課長)

新庁舎の配置計画、店舗機能導入スケジュールについて説明。

(山根委員)

2点質問いたします。断面模式図について、現在あるウララⅠとⅡを結ぶ2階の通路が描かれていませんが通れないのでしょうか。

又、私は女性団体連絡協議会から出席しておりますが、男女共同参画センターは、現在のウララⅡから新庁舎2階の北側に移動となります。図面を見る限り、縮小されるようですが、どの程度小さくなるのか伺いたいと思います。

(小松澤課長)

図面では示されておりませんが、ウララⅡとのペDESTリアンデッキ通路は従来通り通行できます。

男女共同参画センターの面積の縮小については、手元に資料を持ち合わせていないので、明確にお答えできませんが、男女参画センターの機能をどのようにして移転するかは、いただいた提案を反映しております。研修室は100人対応にしており、活動室は、印刷しながら打ち合わせをするようなスペースを広げて欲しいという意見を聞いて、印刷室の機能を広げています。ラウンジで小さな打ち合わせがしたいという意見から、そのように配置しております。又資料室は、現在の図書室をイメージしていただければと思います。又、相談室を二部屋配置しております。

現在の面積を縮小している部分はありますが、機能を網羅しながら拡充している部分もありますので、こちらについても今後協議をして行きたいと思います。

(山根委員)

現在、男女共同参画センターには小さな会議室がありますが、移転後は西側の会議室を申請して利用するようになるのでしょうか。

(小松澤課長)

現在の会議室に対応するのは、活動室を考えております。西側の会議室は庁内の会議を想定しておりますので、男女共同参画課で利用することは可能ですが、一般の方向けには対応していません。

(木村委員)

市役所の役割は利用される方の利便性の他に、ランドマーク的なイメージがあると思います。外国の市庁舎は、歴史のある素晴らしい建築物が多くあります。

以前アメリカから留学生を迎えて、市長に表敬訪問をした際に、庁舎を見て留学生が「これは刑務所ですか」と言われてショックを受けたのを思い出します。

駅前通りからどのような見え方をするか気になるところで、壁面に窓がないと中からも外からも冷たいイメージを受けますが、外光を取り入れる窓が設置され、外観にも配慮をされており感謝したいと思います。

気になった点は、1階のエントランス以外の部分は、閉庁時でも出入りができるのでしょうか。

説明では、ウララステージは撤去して、大屋根を付けるという構想があるということですが、これまで、広場の使われ方が中途半端でもったいなかったと感じていました。様々なイベントに重要なスポットですが、面積が狭いということと、雨対策が非常に難しいと感じていました。

ウララ広場では、八坂祭礼等で高さのある山車が競演をすることが近年の傾向であります。そのようなイベントに支障がないのか。それとも、そういった用途には使えないのか。

又、ウララ広場を使おうとすると、道路使用許可が必要だと言われ制約がありました。そのあたりが解消できているのかを伺いたいと思います。

(小松澤課長)

八坂祭礼の山車の件ですが、ウララ広場で正月に8メートル位の梯子を架けて、出初式を行っています。今回の屋根設置にあたっては、それをクリアする9mの高さで設置したいと考えております。山車の高さがどれくらいか分かりませんが、お伺いして参考にしながら高さを検討して行きたいと思います。

建物の中と外の関係ですが、全部を開放するのは難しいと考えておまして、ドアを開けるようなイメージになると思います。いずれにしても何かの際には出入り口を通さなくても、行き来できるようなイメージで進めて行きたいと考えております。

道路許可については、法律の規制がございます。現在も地下には駐輪場があり、道路の付帯施設として駐輪場ができていますので、道路としないということは難しいです。ただ、許可の手続きはあるにしても、今までも許可は下りていたと思いますので、その辺は関係部署との連絡で対応できる部分もあると思います。

いずれにしても、既存の建物ですので、何かと制限がございますが、使いやすいように、賑わいがうまれるように進めて参りますのでよろしくお願いいたします。

(矢口委員)

店舗として造られていた建物を、市役所として造り変える際にデメリットは生じないのでしょうか。

(小松澤課長)

ウララビルは単純に店舗というわけではなく、隣接するマンションの共用スペースがある再開発ビルです。そういった面で管理規約の制約、あるいは構造的な制約はありますが、

これらを解消しながら進めている状況です。具体的にデメリットなのかは考え方次第とっております。

(矢口委員)

私は、つくば市に住んでいて、つくば市庁舎を利用します。大変使い勝手が良くて分かり易い庁舎と感じておりますので、参考にされているとは思いますが、あのようになると良いと思います。

(横山委員)

レイアウトを拝見しまして、他市の良い部分を参考に、考え抜かれた配置だと感じております。

その中で数点質問いたします。まず、1階のインフォメーションセンターはどの位置に配置されるのか。市民ラウンジがありますが、会議所で運営している交流ステーションがここに来るのでしょうか。

又、環境への配慮という観点から、太陽光発電や雨水利用等、次世代型エネルギーの計画について。又、銀行の配置については、利用者の使い勝手の良いように工夫していただきたいと思います。

更に、投票所について、現在川口町・大和町の方は土浦一中まで投票に行っています。この地域の地区長の意見を伺いながら、庁舎での投票ができるようになる方が便利かと思いました。

(小松澤課長)

横山委員からの質問の前に先ほどの、デメリットの補足をいたします。現在の建物は平成9年に完成したもので、耐震基準には合致しているのですが問題ございませんが、防災拠点として、更に上のレベルの基準にする方針から、筋交をいれる検討をしています。既存の建物に工夫をしながら検討して行かなければならない点からの制約はあります。

横山委員からの質問ですが、インフォメーションセンターは現在駅東口、改札前にございます。市庁舎が駅前に来るにあたって、情報発信の面はどうかという質問だと思います。具体的には確定しておりませんが、1～2階の閉庁時間も市民の皆さんが出入りできる場所辺りに配置して行きたいと考えております。駅側のシースルーエレベーター前に、展示コーナーと描いてありますが、その辺りに情報の掲示ができればと考えております。

太陽光発電の件ですが、現在屋上に太陽光システムがあります。平成9年当時からありますが、故障等の問題から今は稼働していない状態です。パネル自体は未だ使える様ですが、インバーター等の機器の交換が必要になりますので、調査したうえで計画を進めて参りたいと思います。

ATMについては、現在銀行と相談しながら設置の検討をしております。

雨水の利用は、現在の施設にも雨水の貯留施設がございます。これまでは、あまり活用されていなかったようですが、こちらの活用も現在検討を進めている状況です。

投票所の件は、2階のフロアを見ると左側の会議室と事務室で期日前投票には対応する予定です。川口・大和町の一般投票は、今後選挙管理委員会で議論がなされると思います。

(横山委員)

パスはいつごろ、市民に公開される見込みでしょうか

(小松澤課長)

基本設計を9月頃にまとめる予定ですので、その頃にはお示しできると思います。

(横山委員)

地下一階の食料品売り場が決まるのはいつごろでしょうか。

(小松澤課長)

9月頃から約1か月公募をかけまして、審査を経て12月～1月までには契約できればと考えています。

(中川会長)

筑波大学の学生さんの研究発表の中で、中心市街地の癒しコーナーとして、足湯を設置するという面白い意見がありましたが、取り組む余地はありませんか。ラクスマリーナの温泉をどのようにアピールするかにも関係しますがいかがでしょうか。

(久保谷産業部長)

温泉の活用で足湯ということですが、常設できるかは検討が必要ですが、イベントの際に設置することであれば、現在も霞ヶ浦マラソンでも実施しているので十分可能だと思います。ラクスマリーナでは、今月29日に足湯をオープンいたします。タオル付きで大人200円で利用できますので、今後積極的にPRして参りたいと考えています。

(中川会長)

土浦には、マラソン、花火、カレーフェスティバル等、大きな集客を見込めるイベントがたくさんありますので、駅前にある市庁舎には来街者の案内をする宿命を背負っていると思います。花火やマラソンになると、前日から宿泊客も大勢いますので、まずは駅前の市庁舎が来街者の対応に当たるということになると思っています。

(山根委員)

第7次総合計画の後期計画の土浦戦略プランの中に、おもてなし文化の醸成という項目が明記されています。土浦駅前の庁舎が土浦のおもてなし文化の象徴になることが重要なことだと思います。駅北再開発の資料を見ましたが、以前は予定されていた情報センターの位置づけが無くなっていました。こうなると余計に市庁舎で情報センター機能を持つことが重要かと思います。現在ある「ほっと One」と連携しながら、人のシステムを構築できれば、より発展的になると思います。

もう一点は駐車場の件です。ここに来る前に女性に市庁舎に対する意見を聞いてきましたら、グルグル回りながら上がって行く駐車場は怖いという意見がございました。そうすると市営駐車場を利用することになりますが、この問題への対応はどうなるのか。又、私はバイクを利用することが多いのですが、自転車ではなくバイクで来庁した際の駐車スペースが確保されるのかどうか伺いたいと思います。

又、防災拠点の観点から食料等の備蓄が必要ですが、その点はどのように考えていますか。

(小松澤課長)

駐車場については、併設されている立体駐車場と、駅東西の市営駐車場を活用していただきたいと思っています。立体駐車場は使い勝手が悪いという話は伺っていますが、改修は構造的に困難ですので、近隣の駐車場を活用する選択になると思います。現在駅東西市営駐車場で約1,600台、ウララ駐車場で425台ございます。庁舎に来るまで来庁する方はピーク時で150台程度を想定しています。このことから、台数的には対応できますが、使い勝手の面は工夫が必要だと考えております。

防災拠点の件ですが、大震災同様公共交通機関で来た方が帰れない事態、いわゆる「帰宅

難民」の対応になると考えています。

このことから、長期間滞在が必要か、短時間で済むのかの考え方になります。長期間の場合には、避難所となる小中学校等に移動していただく、又庁舎の対応で必要なのは短時間の方と考えていますので、備蓄が必要な物も、食料品より一時的な寒さを凌ぐ物等の方が必要とされると考えています。詳細については庁内の専門部会において検討が進められることと思います。

バイクは、現在も立体駐車場内にスペースがありますので、そのまま利用出来ますが、すぐ近くには駐車スペースはありませんので、検討したいと思います。

(中川会長)

先ほど木村委員から、今の市庁舎が留学生から刑務所みたいだと言われたとのことですが、新たな庁舎もショッピングセンターでしたので窓がありません。外から見ても圧迫感がありますし、職員の方も執務がしづらいのではないかと考えています。窓の設置について、計画があればお伺いいたします。

(小松澤課長)

庁舎の北側には窓を設ける予定です。それ以外の面にも極力、設置したいと考えております。構造的な問題がありますので、窓を全面的に設置することは難しいと思います。

(中川会長)

イトーヨーカ堂が撤退して、中心市街地の緊急事態を受けての庁舎移転ですので、色々な意味でハンデや職員の負担もあると思います。今いただいた意見は、可能な限り反映することをお願いして、中活協としても応援できる場所はあると思いますので、より良いものを一緒に造って行きたいと思います。

時間の関係もありますので、次の協議に入ります。

図書館、霞ヶ浦活用、空き店舗対策については、今後集中的に協議して参りますので、その他の活性化事業でご意見を伺いたいと思います。

(山根委員)

前回の協議会では戦国 BASARA 展で大変な賑わいがあったと伺いました。先日まちかど蔵で天童フェアが実施されていたと思います。井戸端庵では、手ぬぐい展が開催されていたようですが、どのような様子だったがお伺いしたいと思います。

(飯村課長)

天童フェアは、今年で交流都市を結んで10年を迎えますので、定着してきています。

当日は、手ぬぐい展との相乗効果が出て普段より賑わっていたと感じています。

今後とも、定期的にこのような企画を実施していただくとありがたいと思っています。

(菅澤専務)

手ぬぐいフェアは前日に見てきました。昭和30年～50年代の手ぬぐいがたくさん展示されていました。この取り組みは、地元の方々が独自でやられていることが素晴らしいことだと思っています。定着までには時間がかかると思いますが応援して行きたいと思っています。

(山根委員)

奥井薬局さんでも古道具展示コーナーを設けていました。商店街でも、古い物を保存されている方もいますので、このような物を発掘して行く取り組みも、まちおこしにつながる良い

視点かと思えます。

(横山委員)

今後、大和町北地区の議題の際に住民を増やす施策が協議されると思いますが、策定委員会でも土浦は教育・医療の街と言っています。特に医療については、我々は気が付きませんでした。以前商工会議所青年部で協同病院の藤原名誉院長を招いて講演を行った際に、茨城の県南地区が、日本で一番医療体制が整っている地域であるという話を伺いました。

つい一週間前に、取引先の方が脳梗塞で倒れてしまい、東京の府中市に住んでいるにもかかわらず5時間も病院をたらい回しにされてしまったそうです。

これからマンションを建設するに当たっては、高齢者向けに協同病院とタイアップする等、他にないような特徴を出して連携して行くこと。又、土浦は高校の多い街ですから、高校生が将来土浦で働いてもらえる、住んでもらえるような仕掛けが駅前に必要だと感じています。

(中川会長)

医療ツーリズムという言葉があって、日本の最先端医療機関で海外から来た患者が治療を受けて、国に帰るといいますが、この地域は2年も経つと茨城空港はもちろん、羽田・成田両空港に1時間でアクセスできるようになりますので、実績のあるこの地域の医療機関をPRして行く事も意義のある事だと思います。

又、先ほど来サイクリングロードの話をしてありますが、リンリンロードは岩瀬までつながっていますし、霞ヶ浦自転車道沿いでは、阿見、美浦、行方の方など、どこでも拠点になり得ます。その意味では、積極的に県の計画についても、中心市街地に受け止めるような対策を示すことが重要です。

(船沢課長)

サイクリングは、環境面や健康面から注目を集めております。現在市ではリンリンロードや、自転車専用道路とどのようにネットワークが図れるか調査を実施しております。すでに自転車歩行道路については指定されている部分は補足しています。まちなかにおいても、自転車の回遊性を高めて、来街者を迎えたいと考えております。

(久保谷部長)

土浦に大規模自転車道が2つあり、繋がれば日本一の規模になります。土浦にとっては大きな財産ですので、大いに観光に活かして行きたいと考えています。今年は、観光基本計画の見直しを検討しておりますので、その中でも、自転車を活かした観光づくりを位置付けて行きたいと思えます。

(神立課長)

日本一のサイクリングロード計画の件は、土浦市と霞ヶ浦周辺の市町村、筑波のリンリンロード周辺市町村とで検討会議を設けています。その中で、10月の霞ヶ浦エンデューロの時に2つのロードを繋ぐコースを設定して行こうと検討しています。

7月の末に各市町村集まりコースの検討を行う予定です。

(池田正雄委員)

昨日、中城おかみさん会の朝市に、本学の学生が花を売るお店の手伝いをさせていただいたので、手ぬぐい展と合わせて見てきました。昭和30年代の商店の手ぬぐいなどが展示されており、レトロで文化的な雰囲気醸し出されていて非常に良かったと思えました。

大学の地域貢献の一環として学生を参加させていますが、同時に天童フェアも実施されて

おり、地元の活動と他地域との連携が図られていて、活性化に繋がれば良いと思いました。

駐車場の件で質問ですが、庁舎の駐車場は無料でしょうか。私は松戸市に住んでおり、市役所駐車場は、1時間無料で、それ以上は有料となりますが、やむを得ず超過する場合は役所の押印があれば無料になるシステムをとっています。

(小松澤課長)

駅前立地ですので、庁舎に来た方と、それ以外の方も駐車場を利用されます。

本来庁舎に来た方は、時間は未定ですが1時間、若しくは1時間半までは無料にしたいと思っています。

(大澤副会長)

3点ほどあります。

一つは、皆さん気にされている通り外観、パースだと思います。どの程度百貨店の色を払拭したパースが出てくるのか、次回見せていただきたいと思っています。太陽光パネルの件ですが、群馬県の太田市では壁面に設置しています。本来壁面は効率が悪いのですが、市民が見ているという意識もあると思います。

二つ目は、ソフト面で、百貨店のDNAを活かした、土曜・日曜の導線です。週末の庁舎内外の誘客がどのようになるか大変興味を持っています。これに関連して、イベント時に訪れた多くの観光客のハートをどのように掴むか。これには、市役所が週末にどう機能するかが重要だと考えています。

三つ目は、環境面や、経済性、限界性を考えると都市のコンパクト化は必須です。自転車道の話がありましたし、JRさんも来られています。今後安定したコンパクトシティを実現するには、その時に公共交通にどうシフトするのか、次の仕掛けが重要になってくると思います。

(横田オブザーバー)

空き店舗を利用した市役所移転は、他地域でも事例があり、成功と失敗の両面ありますが、単なる市役所移転では、失敗になっているケースが多いように思います。

市役所に市民が集うスペースを設け、特に週末にイベント等で、いかに人を呼び込む仕掛けをしているかが重要です。この意味から、北側をガラス張りにして、隣接する広場に大屋根を付ける計画は非常に良い計画だと感じました。

医療のお話でしたが、私事ですが、先日風疹の予防接種を受けましたが、ワクチンが足りず、他の地域はなかなか受けられないこともあると聞いておりますので、このようなことから土浦は診療所や医療施設が充実していると感じています。

国でも今後、医療面からのまちづくりは中心市街地の活性化における重要なキーワードになると考えておりますが、土浦においてもあてはまると思います。

環境面では、土浦には霞ヶ浦が有効な資源としてありますので、この活用も活性化の重要なものの一つであると思います。又、太陽光パネルの件ですが、庁舎に設置する際には、国の支援策もありますので、再生可能エネルギーとして活用していただきたいと思っています。

医療と環境、市民が集うスペース、これらは国の施策とも合致しますので、計画書策定のキーワードにして市庁舎を整備していただきたいと思っています。

(事務局)

今回は、7月25日(木) 午後1時30分より、図書館を含む土浦駅北再開発事業を主題に協議会を開催いたします。